



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	学校法人田中学校 立命館慶祥小学校 増築棟	階数	地上3階建て
建設地	札幌市豊平区西岡1条7丁目205番3、205番78、205番86	構造	RC造
建物用途	学校	平均居住人員	130 人
竣工年	令和6年1月 竣工	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
敷地面積	9,110 m <sup>2</sup>	評価の段階	竣工段階評価
建築面積	286 m <sup>2</sup>	評価の実施日	2024年2月27日
延床面積	778 m <sup>2</sup>	作成者	
		確認日	2024年2月27日
		確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★ **B+**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 建築環境SDGsチェックリスト評価結果

\*SDG1,2,10,14,16は他のゴールに集約されています

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 一次エネルギー消費量の評価

建物全体の[BEI][BEIm] **0.76**

ZEB/ZEH-Mランク **非該当**

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

**Qのスコア = 2.9**

##### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

#### LR 環境負荷低減性

**LRのスコア = 3.1**

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項	
<p><b>総合</b></p> <p>平面形状をシンプルにし、できるだけ周囲への圧迫感を抑えるようにした</p>	<p><b>A 省エネルギー</b></p> <p>効率の良い設備機器などを使用し、省エネルギー性能を高めるよう配慮した</p>
<p><b>B 省資源等</b></p> <p>ほぼ全体にLED照明を設ける、節水型器具などを使用する等をし、可能な限り環境負荷の軽減に務めた</p>	<p><b>C 緑化</b></p> <p>できるだけ緑地を設け、周囲や利用者への環境づくりに配慮した</p>
	<p><b>D 雪処理</b></p> <p>陸屋根形状とすることで、周囲への落雪に配慮した</p>

4 ほかの認証・評価制度の利用			
(一財)住宅・建築SDGs推進センターのCASBEE認証	-	BELS認証	-
上記以外の認証・評価制度の利用	-	LEED認証	-

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■環境品質Q=25×(Qのスコア-1)、環境負荷L=25×(5-LRのスコア)より算出

スコアシート		竣工段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
配慮項目	重点評価項目	環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数		
<b>Q 建築物の環境品質</b>									
<b>Q1 室内環境</b>									
<b>1 音環境</b>									
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40		-	2.6	
1.2 遮音				3.0	0.40		-		
1	開口部遮音性能		-	3.0	0.30		-		
2	界壁遮音性能		-	3.0	0.30		-		
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	3.0	0.20		-		
4	界床遮音性能(重量衝撃源)		-	3.0	0.20		-		
1.3 吸音				1.0	0.20		-		
<b>2 温熱環境</b>									
2.1 室温制御				3.0	0.50		-		3.0
1	室温		-	3.0	0.60		-		
2	外皮性能	省エネ	-	3.0	0.40		-		
3	ゾーン別制御性		-	3.0	-		-		
2.2 湿度制御				3.0	0.20		-		
2.3 空調方式				3.0	0.30		-		
<b>3 光・視環境</b>									
3.1 屋光利用				1.8	0.30		-	2.6	
1	屋光率		-	1.0	0.60		-		
2	方位別開口		-	3.0	-		-		
3	屋光利用設備	省エネ	-	3.0	0.40		-		
3.2 グレア対策				3.0	0.30		-		
1	屋光制御	省エネ	-	3.0	1.00		-		
3.3 照度				3.0	0.15		-		
3.4 照明制御				3.0	0.25		-		
<b>4 空気質環境</b>									
4.1 発生源対策				5.0	0.50		-		3.6
1	化学汚染物質		建築材料はF☆☆☆☆を使用	5.0	1.00		-		
4.2 換気				1.6	0.30		-		
1	換気量		-	3.0	0.33		-		
2	自然換気性能		-	1.0	0.33	3.0	-		
3	取り入れ外気への配慮		-	1.0	0.33	1.0	-		

4.3 運用管理					3.0	0.20		-	
1	CO <sub>2</sub> の監視		-		1.0	0.50		-	
2	喫煙の制御		敷地内及び建物全体を禁煙にしている		5.0	0.50		-	
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	2.8
1 機能性					2.8	0.40		-	2.8
1.1 機能性・使いやすさ					3.0	0.40		-	
1	広さ・収納性		-			-		-	
2	高度情報通信設備対応		-			-		-	
3	バリアフリー計画		-		3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性					3.0	0.30		-	
1	広さ感・景観		-		3.0	0.50		-	
2	リフレッシュスペース		-			-		-	
3	内装計画		-		3.0	0.50	1.0	-	
1.3 維持管理					2.5	0.30		-	
1	維持管理に配慮した設計		-		3.0	0.50		-	
2	維持管理用機能の確保		-		2.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性					2.9	0.30		-	2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振					3.0	0.50		-	
1	耐震性(建物のこわれにくさ)		-		3.0	0.80		-	
2	免震・制震・制振性能		-		3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数					3.4	0.30		-	
1	躯体材料の耐用年数		-		3.0	0.20		-	
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	省資源	-		3.0	0.20		-	
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	省資源	期待耐用年数が長い内装材を選定している		5.0	0.10		-	
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	省資源	-		3.0	0.10		-	
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	省資源	期待耐用年数が長い管材を選定している		4.0	0.20		-	
6	主要設備機器の更新必要間隔	省資源	-		3.0	0.20		-	
2.4 信頼性					2.2	0.20		-	
1	空調・換気設備		-		3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		-		2.0	0.20		-	
3	電気設備		-		3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		-		1.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		-		2.0	0.20		-	
3 対応性・更新性					2.6	0.30		-	2.6
3.1 空間のゆとり					1.8	0.30		-	
1	階高のゆとり		-		1.0	0.60		-	
2	空間の形状・自由さ		-		3.0	0.40	2.0	-	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.30		-	

3.3 設備の更新性				3.0	0.40		-	
1	空調配管の更新性		-	3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		-	3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		-	3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		-	3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		-	3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		-	3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30		-	3.0
1	生物環境の保全と創出	緑化	-	3.0	0.30		-	3.0
2	まちなみ・景観への配慮	緑化	-	3.0	0.40		-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30		-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	雪処理	-	3.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	省資源 緑化	-	3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性								3.1
LR1 エネルギー				-	0.40		-	3.3
1	建物外皮の熱負荷抑制	省エネ	BPI= 0.75 品確法=	-	5.0	0.20	-	5.0
2	自然エネルギー利用	省エネ	-		2.0	0.10	-	2.0
3	設備システムの高効率化	省エネ	BEI= 0.76	-	3.4	0.50	-	3.4
4	効率的運用				2.0	0.20	-	2.0
集合住宅以外の評価					2.0	1.00	-	
4.1	モニタリング	省エネ	-		3.0	0.50	-	
4.2	運用管理体制	省エネ	-		1.0	0.50	-	
集合住宅の評価								
4.1	モニタリング	省エネ	-					
4.2	運用管理体制	省エネ	-					
LR2 資源・マテリアル				-	0.30		-	2.8
1	水資源保護				3.0	0.20	-	3.0
1.1	節水		-		3.0	0.40	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	
1	雨水利用システム導入の有無		-		3.0	0.70	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		-		3.0	0.30	-	
2	非再生性資源の使用量削減				2.6	0.60	-	2.6
2.1	材料使用量の削減	省資源	-		2.0	0.10	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用	省資源	-		3.0	0.20	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	省資源	-		3.0	0.20	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	省資源	-		1.0	0.20	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材	省資源	-		2.0	0.10	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	省資源	乾式間仕切壁、断熱材のウレタン吹付、OAフロ等、分別が比較的容易である		4.0	0.20	-	

<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>				<b>3.6</b>	0.20		-	<b>3.6</b>
3.1 有害物質を含まない材料の使用			有害物質を含まない材料を使用している	<b>5.0</b>	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避				<b>3.0</b>	0.70		-	
1	消火剤	省資源	-	-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)	省資源	-	3.0	1.00		-	
3	冷媒	省資源	-	-	-		-	
<b>LR3 敷地外環境</b>				<b>-</b>	<b>0.30</b>		<b>-</b>	<b>3.0</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		省資源	-	<b>3.5</b>	0.33		-	<b>3.5</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>				<b>2.5</b>	0.33		-	<b>2.5</b>
2.1 大気汚染防止		省資源	-	<b>3.0</b>	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善		省資源 緑化 雪処理	-	<b>2.0</b>	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				<b>3.2</b>	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減	省資源	-	3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		-	3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制		-	3.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制	省資源 雪処理	陸屋根にし周囲への落雪に考慮した	4.0	0.25		-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>				<b>3.1</b>	0.33		-	<b>3.1</b>
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				-	-		-	
1	騒音		-	-	-		-	
2	振動		-	-	-		-	
3	悪臭		-	-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				<b>2.8</b>	0.67		-	
1	風害の抑制		-	3.0	0.60		-	
2	砂塵の抑制		-	2.0	0.20		-	
3	日照阻害の抑制		-	3.0	0.20		-	
3.3 光害の抑制				<b>3.7</b>	0.33		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		公告物照明を使う予定無し	4.0	0.70		-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		-	3.0	0.30		-	



■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2021v1.0

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2021(ver.1.0)

## 1 建物概要

建物名称	学校法人田中学園 立命館慶祥小学校 増築棟	BEE	1.0	BEEランク	B+
建物用途	学校				
延床面積	777.8 m <sup>2</sup>				

## 2 重点項目への取り組み

## レーダーチャート

地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー	★★★★★	<p>省エネルギー 性能 5.0 4.0 3.0 2.0 1.0 0.0 雪処理 省資源等への取組 緑化への取組</p> <p>★1=スコア(最低点~最高点)20%以下 ★2=スコア(最低点~最高点)20%~40%以下 ★3=スコア(最低点~最高点)40%~60%以下 ★4=スコア(最低点~最高点)60%~80%以下 ★5=スコア(最低点~最高点)80%以上</p>
	省資源等	★★★☆☆	
	緑化	★★★★☆	
	雪処理	★★★★☆	

## 3. 重点項目のCASBEEスコア

A 省エネルギー ( 最高点 23.5 最低点 6.6 )		合計 15.3点 /23.5点	
Q1 温熱環境	スコア 0.8 /1.4	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア 4.0 /4.0
Q1 光・視環境	スコア 1.3 /2.1	LR1 自然エネルギー利用	スコア 0.8 /2.0
		LR1 設備システムの高効率化	スコア 6.8 /10.0
		LR1 効率的運用	スコア 1.6 /4.0
B 省資源等 ( 最高点 23.9 最低点 7.5 )		合計 13.8点 /23.9点	
Q2 耐用性・信頼性	スコア 0.7 /1.1	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア 4.7 /9.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.4 /2.3	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア 1.3 /2.1
		LR3 地球温暖化への配慮	スコア 3.5 /5.0
		LR3 地域環境への配慮	スコア 2.2 /4.4
C 緑化 ( 最高点 15.3 最低点 3.1 )		合計 8.7点 /15.3点	
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 2.7 /4.5	LR3 地域環境への配慮	スコア 1.0 /2.5
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 3.6 /6.0		
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.4 /2.3		
D 雪処理 ( 最高点 3.0 最低点 0 )		合計 2.0点 /3.0点	
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0 /1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 1.0 /2.0

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■重点項目の最高点は、各評価項目でレベル5で評価された場合の点数

■重点項目の最低点は、各評価項目でレベル1で評価された場合の点数